

目白大学短期大学部（2020年度申請）

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	目白大学短期大学部
設置者名	学校法人目白学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	製菓学科	夜・通信	0	15	49	64	7	
	ビジネス社会学科	夜・通信			54	69	7	
	歯科衛生学科	夜・通信	0	74	74	10		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

目白大学短期大学部（2020年度申請）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	目白大学短期大学部
設置者名	学校法人目白学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	国立大学名誉教授	2018.4.1～ 2021.3.31	初等中等教育に造詣が深く、その知見を生かした本学園の運営に対するチェック及び指導。
非常勤	元株式会社 非常勤監査役	2018.4.1～ 2021.3.31	民間企業での経験を生かした本学園の運営に対するチェック及び指導。
(備考)			

目白大学短期大学部（2020年度申請）

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	目白大学短期大学部
設置者名	学校法人目白学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)作成過程 ⇒教務委員会で周知(12月)⇒各教員に作成依頼(1月本学教務ポータルサイトより入力) ⇒入力締切後、各学科長がシラバス内容を確認 ⇒修正指示&修正(～3月末)⇒本学教務ポータルサイト掲載⇒新年度4月本学ホームページにて公開 ・シラバス入力項目 担当者名、授業のねらい、学生の学習目標、授業内容(スケジュール) 授業の事前準備と事後学習、評価の方法と観点、試験・レポートの返却方法、学習成果、必須資料(教科書等)、参考資料。アクティブラーニングの導入、実務教員科目該当(該当⇒実務経験と授業内容の関係)、ICTの導入、オフィスアワー 	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページで公表 https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

目白大学短期大学部（2020年度申請）

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学は試験及び学習成績の評価に関する規程を定め、運用している。 なお、各科目の成績評価は、シラバスに示された評価方法に従いS・A・B・C・D・G・Nの7段階で評価する。S・A・B・C・G・Nが合格（単位認定）、Dが不合格（単位不認定）となる。 評価基準は以下の通り。</p> <p>S＝特に秀でた成績（総履修者数の概ね10％を限度とする） A＝100点から80点まで B＝79点から70点まで C＝69点から60点まで D＝59点以下 G＝100点方で評価し難い科目として指定された科目（「インターンシップ（短期）」、「インターンシップ（長期）」「スタディ・アブロード」）を履修し合格した場合 N＝他大学で修得し本学が認定した科目、検定試験に合格し認定された科目等</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は、成績評定平均値（GPA）に関する規程を定め、運用している。 算出方法は下記のとおり。</p> <p>成績 S : GP = 4、A : GP = 3、B : GP = 2、C : GP = 1、D : GP = 0</p> <p>GPA計算式 (当該学期に成績評価を受けた授業科目のGP×当該科目の単位数) の合計 <hr style="width: 100%;"/> = 学期のGPA 当該学期に成績評価を受けた授業科目の総単位数</p> <p>※「G」評価、「N」評価は算出時に含まない。</p> <p>別添資料 GPA分布状況（2019年度1年生 学科別）</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>GPAに関する規程及び算出方法は、学生へ配布する「学生便覧」に掲載し公表している。また、学生個人のGPAの学生への通知は、自身がWeb成績情報に記載されているので、常に確認できます。また、成績通知表に記載し、年度末に学生自宅へ郵送している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

目白大学短期大学部（2020年度申請）

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学は、本学学則、卒業認定・学位授与等の方針に関する規程を定め、学則及び規程に則り、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、以下の能力を身につけ、所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した短期大学士の課程を修了した者に、短期大学士の学位を授ける。

- ①社会に目を向け、多様な視点からものごとを考え、課題解決に向けて学び続けることができる。
- ②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、活用することができる。
- ③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、責任ある社会的行動をとることができる。

なお、卒業要件については、「学生便覧」に各学科の科目の内訳（基礎科目、専門科目及び必修単位数、選択単位数、卒業要件単位数）を一覧表で示している。また、2年以上在学し卒業要件を満たした場合、教授会の議を経て卒業を認定し「短期大学士」の学位を授与すると明記している。

卒業査定手順は下記のとおりである。

【3月卒業査定手順】

- ①2月上旬 教務課より卒業年次生履修状況一覧を各学科に配布する。
- ②2月下旬 教務課より各学科に卒業判定学科査定資料（成績資料、卒業要件未充足者資料）を配布する。
- ③3月上旬 各学科より教務課に卒業判定査定結果を報告する。
- ④教務課は卒業判定資料を作成する。
- ⑤3月上旬 卒業判定教授会開催し審議のうえ、卒業生及び卒業延期者を確定する。
- ⑥学生は卒業の可否を本学学生専用ポータルサイト（学生ネットサービス）にて確認する。卒業延期者には郵送にて通知する。

【9月卒業査定手順】

- ①8月中旬 教務課より卒業年次生履修状況一覧を各学科に配布する。
- ②9月上旬 教務課より卒業判定査定資料（成績資料）を各学科に配布する。
- ③9月上旬 各学科より教務課に卒業判定結果を報告する。
- ④教務課は卒業判定資料を作成する。
- ⑤9月中旬 卒業判定授会開催し審議のうえ、卒業生及び卒業延期者を確定する。
- ⑥卒業可の場合、教務課より郵送にて学生に通知する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生に配布する「学生便覧」に大学学則、学位授与等の方針に関する規程を掲載し、公表している。また学位授与方針については、ホームページ上でも公表している。
<https://www.mejiro.ac.jp/college/about/dp/>

目白大学短期大学部（2020年度申請）

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	目白大学短期大学部
設置者名	学校法人目白学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/
財産目録	ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/
事業報告書	ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/
監事による監査報告（書）	ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：2020年度事業計画書 対象年度：令和2年度（2020年度））
公表方法：ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/2020_business_plan.pdf
中長期計画（名称：学校法人目白学園第4次中期目標・中期計画 対象年度：令和元年度（2019年度）～令和4年度（2023年度））
公表方法：ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/mt_plan_2019-2023.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/self_evaluation/

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/jiheer/

（3）学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 短期大学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/college/about/characteristics/ ）
（概要） 本学は、幅広い教養と専門的な知識・技術をバランスよく備えた女性の育成に取り組んでいる。資格取得や実務に直結する教育に力を入れ、学生一人ひとりの興味に応じた多様な学びを用意し、豊かな人生を送るために、以下の「3つの力」を身につけることを目標としている。 「学び続ける力」 ①知的好奇心をもって、ものごとに積極的に取り組むことができる「意欲」 ②高い倫理性をもって、自分をさらに高めようと勤勉に努力することができる「向上心」 ③基本的な生活習慣を身につけ、健康な社会生活を送ることができる「自己管理能力」 この3つが基になり、習得する力のことです。短大に在籍する間のみならず、その後の人生においても学び続け、豊かな教養を身につけるための力=生涯学習力ともいえる力を身につける。 「実践する力」 ①日本語・英語を用いて、読み書きや話すことができるコミュニケーション力や、数字や情報を的確に読み取り分析することができる力から成る「汎用的能力」 ②現状を分析し、自ら課題を発見・分析し、計画的に問題解決に向けて的確に判断することができる「思考力」 ③チームにおける自分の役割を理解し、相手の意見や立場を尊重し、協調して物事を進めることができる「チームで働く力」 実践する力とは、この3つで構成される力のこと。それぞれの将来就く職業に適応し、社会で活躍していくための実践力を身につける。 「社会に役立てる力」 ①修得した知識・技能を応用し、新しい価値を生み出すことができる「創造力」 ②自分の考えを他者に分かりやすく発信し、互いに共有することで、自身の新しい可能性を見出すことができる「自己表現力」 ③修得した知識・技能を、社会や地域の人々のために積極的に還元することができる「社会貢献力」 この3つからなる力は、「自分が社会で活躍する」だけでなく、「得た知識や技能を基に、他者や社会に役立てる」ことができる、大切な力と考えている。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/college/about/dp/ ）

目白大学短期大学部（2020年度申請）

（概要）

本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。

また、本学は、在学年数、単位数等の卒要要件を満たし、本学共通の能力である、

①社会に目を向け、多様な視点からものごとを考え、課題解決に向けて学び続けることができる。

②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、活用することができる。

③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、責任ある社会的行動をとることができる。

以上を身につけ、以下の学科でのディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した短期大学士課程の学生に、短期大学士の学位を授ける。

<製菓学科>

①食についての基礎的な知識、製菓に関する専門知識を修得し、適切な判断をすることができる。

②諸材料の特性を理解、把握し、それを活かした安全で美味な菓子を製作することができる。

③食に関する好奇心と問題意識、新しい食文化を築き上げる創造力を持ち、責任ある社会的行動をとることができる。

<ビジネス社会学科>

①ビジネス社会に必要な基礎的な知識を身につけ、問題解決に向けて適切に判断することができる。

②社会全般の諸問題について、情報リテラシーを活用してコミュニケーションを図ることができる。

③社会に対する関心を持ち、自らの立場から社会の変化に対応し、責任ある行動をとることができる。

<歯科衛生学科>

①口腔保健に関する専門的な知識・技術を身につけ、高度化する歯科医療と多様な口腔保健ニーズに対応することができる。

②保健医療・福祉など多職種の人々との協働・連携を図るコミュニケーション能力を身につけ、地域社会において人々の健康と生活を支える活動に取り組むことができる。

③医療人として、高い倫理観を備え責任ある行動をとることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表

<https://www.mejiro.ac.jp/college/about/cp/>）

（概要）

本学は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組むまず、本学の基本方針として

①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」を具現化する体系的な教育課程を編成する。

②学科等ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程を編成する。

③21世紀の知識基盤社会に対応できるふさわしい教養を持ち、自ら思考し行動できる力を育て、職業に必須な専門教育を授ける教育課程を編成する。

④専門職資格取得を目的とするコースにあっては、実践を通じて知識および技術の獲得と同時に、専門職者としての感性を磨き、活用できる能力を育成する教育課程を編成する。

以上のほかに、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

目白大学短期大学部（2020年度申請）

<製菓学科>

- ①基礎的な知識・理論・技術の修得および専門的な資格の取得を根幹に、さらに製菓に関連する広範な学びが可能な専門教育科目を配置する。
- ②社会や時代の変化に対応できる実践力、応用力の修得を目標とした運用を図る。
- ③社会人の基礎力として不可欠な基礎学力の充実、マナーやコミュニケーション能力の充実を図るカリキュラムを編成する。

<ビジネス社会学科>

- ①社会人としての基本的知識と技能を習得し、ビジネス社会で活躍できる能力を育むカリキュラムを編成する。
- ②ビジネス社会で必須となる知識と実践の連携を図り、機能的に学べる専門教育科目を配置する。
- ③社会や学生の多様なニーズに応じた有機的な組み合わせが可能な学びを促す。

<歯科衛生学科>

- ①高度化する歯科医療と多様な口腔保健ニーズに対応するための専門知識と技術、科学的な思考力を身につけ、人々の健康を口腔領域から支援できる人材を養成するための教育課程を編成する。
- ②歯科衛生学の特性から、視聴覚教材を用いた教育方法を取り入れるとともに、主体的な学習力向上の観点からアクティブラーニングや課題解決学習方法などの導入を図る。
- ③豊かな人間性と想像力に富む知性の涵養を図り、口腔保健領域における実践的活動に取り組むための基盤能力を習得するために、基礎教育科目及び専門教育科目（専門基礎科目、専門科目、専門発展科目）を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表
<https://www.mejiro.ac.jp/college/about/ap/>）

（概要）

本学共通に事項として、求める学生像を下記に定める。

- ①各学科の専門分野を積極的に学ぶ意欲を有する人。
 - ②各学科の学びに必要な基礎的な学力、技能を有する人。
 - ③他者と協力し、コミュニケーションをとる能力を有する人。
- 以上のほかに、各学科でのアドミッション・ポリシーを以下に定める。

<製菓学科>

- ①製菓に関する知識の修得や、技能の鍛錬への意欲を持っている人。
- ②社会や製菓、衛生を理解するために必要な基礎学力を身につけている人。
- ③コミュニケーションを取りながら、グループでの共同作業ができる人。

<ビジネス社会学科>

- ①社会やビジネス現場における課題発見・解決するために役立つ知識と技術を学ぶ意欲のある人。
- ②社会や仕事を理解する上で必要な基礎学力を身につけている人。
- ③ビジネス社会で活躍するための基本的知識と技能を身につけ、社会に貢献したいと思っている人。

<歯科衛生学科>

- ①口腔保健に関する専門知識と技術の習得に向けて、入学以降の学びに必要な読解力、理解力、思考力を有する人。
- ②保健医療福祉の分野における実践的活動や課題解決に取り組む意欲のある人。
- ③さまざまな人々とコミュニケーションをはかり、社会貢献に取り組む意欲のある人。

目白大学短期大学部（2020年度申請）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表

https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/#tab_content_012

目白大学短期大学部（2020年度申請）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
生活科学科	—	1人	0人	0人	0人	0人	1人
製菓学科	—	2人	1人	2人	0人	3人	8人
ビジネス社会学科	—	3人	1人	3人	0人	2人	9人
歯科衛生学科	—	6人	1人	2人	3人	2人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				49人			49人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページで公表 https://www.mejiro.ac.jp/college/course/professor_list/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、授業内容・方法を改善と向上を目的とした全教員対象の全学FD研修と各学部・学科でのFD研修を行なっている。全学でのFD研修は毎年定期的に年2回実施しており、2019年度は9月と11月に実施した。9月はコンプライアンス教育、研究倫理教育についての講演会と教員による研究成果発表を行い、11月は多様な学生（主に障がいを持った学生）への対応について、外部講師を招へいし、講演会、事例発表、シンポジウムを行った。なお、11月に関しては、教員のみではなく、職員も対象とした。</p> <p>また、学内にFD実施委員会（委員長は副学長）を設置し、各学部及び学科毎にもFDを実施しており、教育活動の充実、キャリア教育、進路指導など、幅広いテーマでFDを行なっている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活科学科	0人	0人	%	0人	1人	%	0人	0人
製菓学科	55人	55人	100.0%	110人	120人	109.0%	0人	0人
ビジネス社会 学科	75人	95人	126.7%	150人	170人	113.3%	0人	0人
歯科衛生学科	60人	44人	73.3%	120人	73人	60.8%	0人	0人
合計	190人	194人	102.1%	380人	364人	95.8%	0人	0人
(備考) 生活科学科は2019年度募集停止								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活科学科	67人 (100%)	1人 (1.5%)	61人 (91.0%)	5人 (7.5%)
製菓学科	57人	0人	51人	6人

目白大学短期大学部（2020年度申請）

	(100%)	(0%)	(89.5%)	(10.5%)
ビジネス社会 学科	74人 (100%)	5人 (6.8%)	61人 (82.4%)	8人 (10.8%)
歯科衛生学科	0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	198人 (100%)	6人 (3.0%)	174人 (87.4%)	19人 (9.6%)
<p>(主な進学先・就職先) (任意記載事項)</p> <p>生活科学科、ビジネス社会学科は一般企業の販売職、事務職が多く、製菓学科は飲食業やサービス業、洋菓子・和菓子・パン職人が多い。</p>				
<p>(備考)</p> <p>歯科衛生士学科は2019年度開設のため、該当者なし</p>				

目白大学短期大学部（2020年度申請）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画（シラバス）作成過程 <p>⇒教務委員会で周知（12月）⇒各教員に作成依頼（1月本学教務ポータルサイトより入力） ⇒入力締切後、各学科長がシラバス内容を確認 ⇒修正指示&修正（～3月末）⇒本学教務ポータルサイト掲載⇒新年度4月本学ホームページにて公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シラバス入力項目 <p>担当者名、授業のねらい、学生の学習目標、授業内容（スケジュール） 授業の事前準備と事後学習、評価の方法と観点、試験・レポートの返却方法、学習成果、 必須資料（教科書等）、参考資料。アクティブラーニングの導入、実務教員科目該当（該 当⇒実務経験と授業内容の関係）、ICTの導入、オフィスアワー</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学は試験及び学習成績の評価に関する規程を定め、運用している。 なお、各科目の成績評価は、シラバスに示された評価方法に従いS・A・B・C・D・G・ Nの7段階で評価する。S～C・G・Nが合格（単位認定）、Dが不合格（単位不認定） となる。 評価基準は以下の通り。</p> <p>S＝特に秀でた成績（総履修者数の概ね10%を限度とする） A＝100点から80点まで B＝79点から70点まで C＝69点から60点まで D＝59点以下 G＝100点方で評価し難い科目として指定された科目（「インターンシップ（短期）」、</p>

目白大学短期大学部（2020年度申請）

「インターンシップ（長期）」、「スタディ・アブロード」を履修し合格した場合 N＝他大学で修得し本学が認定した科目、検定試験に合格し認定された科目等				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	製菓学科	68 単位	有	1 学期 24 単位
	ビジネス社会学科	64 単位	有	1 学期 24 単位
	歯科衛生学科	103 単位	有	1 学期 28 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公表

https://www.mejiro.ac.jp/college/campuslife/life/campus_map/

目白大学短期大学部（2020年度申請）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
短期大学部	製菓学科（1年次生）	840,000円	250,000円	370,000円	施設設備費、実験実習費
	製菓学科（2年次生）	808,000円	-	380,000円	施設設備費、実験実習費
	ビジネス社会学科（1年次生）	804,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	ビジネス社会学科（2年次生）	783,000円	-	280,000円	施設設備費
	歯科衛生学科（1年次生）	840,000円	250,000円	380,000円	施設設備費、実験実習費
	歯科衛生学科（2年次生）	820,000円	-	380,000円	施設設備費、実験実習費 2019年度開設のため 3年次生は在籍しない

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>（概要）</p> <p>学費については、短期大学（学校法人）、保護者の教育後援団体及び同窓会組織等の寄付により設立された奨学金管理団体から、成績優秀者又は経済的支援を必要としている学生に奨学金を給付又は貸与している。また本学では資格取得を奨励しており、大学が指定する資格を取得した学生には奨励金を支給している。</p> <p>施設面については、学内にラーニングコモンズ、ネットカフェ等を整備し、学生の自発的な学習を側面的に支援している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>（概要）</p> <p>多様な進路に対応するため「キャリアデザイン」の授業だけではなく、就職活動で必要とされる各種講座等を行い、さらに、1年次の2月～3月に就職支援部職員と学生との個人面談や年3～4回の電話調査で、活動状況を把握し、個人個人のニーズに合わせた支援を行っている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>（概要）</p> <p>保健室を設置し、体調不良及び怪我等の応急対応のほか、学生の健康及び身体面での悩み等の相談に随時応じている。</p> <p>さらに、学生相談室に専門家（精神科医、臨床心理士）を配置し、学生のメンタル面でのサポートを中心に、学生が抱える悩みや問題の解決に向けた支援を行なっている。また、学生自身が自身の状況を把握と対処ができるように、学生のコミュニケーションスキル向上に向けたワークショップを実施している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：刊行物とホームページで公表</p> <p>研究活動の紹介：https://www.mejiro.ac.jp/univ/research/center/activities/</p> <p>研究紀要の刊行（目白大学リポジトリ）https://mejiro.repo.nii.ac.jp/</p>
